

自主事業と貸館のバランスについて

(県実施:全国文化施設調査結果より)

ホール	設置区分	運営	大ホール 席数	対応状況
1 宮城県民会館(東京エレクトロンホール宮城)	県	指定管理	1,670	・優先的に予約を受付する催事が、月の土日の50%となるよう見込みながら、公の催事や名義共催事業の数・時期を調整 ・この取扱は、イベント等一般利用者との意見交換により実施
2 横浜みなとみらいホール	指定都市		2,034	・ホール利用調整会議でその都度調整
3 堺市民芸術文化ホール (新文化施設整備中:H31年秋グランドオープン)	指定都市		2,000	・一般利用者が申込を行う時点で、利用の集中する土日のうちの50%程度は、原則、市民利用のために確保
4 八王子市民会館(オリンパスホール八王子)	中核市		2,021	・市民利用優先予約(1年前の1日に市民利用者への優先予約日を設定)あり。 ・優先予約日を過ぎれば貸出に制限等はなし
5 鹿児島市民文化ホール	中核市		1,998	・通常一年前の月の初日に予約会を開き予約を受付 ・ただし、一年以上前から受け付ける特別仮予約については、土日の半分まで
6 豊中市立文化芸術センター	中核市		1,344	・自主事業(共催を含む)として使用できる土日の数は年度内で20日まで ・市民団体に土休日の利用を優先させるため、設置者との協定書に規定
7 横須賀市文化会館	中核市		1,098	・自主事業は市民利用がない日に開催日を設定
8 高知市文化プラザ(かるぽーと)	中核市		1,085	・学会等の優先的な予約による利用は50%以下に制限
9 響きの森文京公会堂(文京シビックホール)	特別区			1,802